



2018年4月11日

アバンギャルド：新型 Audi A6 Avant

- 印象深いデザイン、広々としたインテリアと優れた多用途性
- マイルドハイブリッド（MHEV）システムを備えたパワフルなエンジン
- 快適性重視から俊敏性重視まで幅広い選択肢を用意するサスペンション
ダイナミックオールホイールステアリング（4輪操舵）もオプション設定
- ナビゲーション、インフォテイメント、そしてドライバーアシスタンスシステムはフルコネクテッドに

2018年4月11日 インゴルシュタット：新型 Audi A6 Avant は、ダイナミックなデザイン、優れた実用性と多用途性を見事に融合しています。このクルマは、印象的なリヤデザインを採用しながらも、565～1,680ℓ という柔軟に使用できるラゲッジコンパートメントを実現しています。ドライブシステムとサスペンションは、快適性とスポーツ性を念頭に設計されています。ダイナミックオールホイールステアリング（4輪操舵）が俊敏性を向上させる一方で、標準装備されたマイルドなハイブリッドシステムが効率を高めます。直感的な操作が可能なフルデジタル MMI タッチレスポンス操作システムは、ドライバーと乗員に高いレベルの利便性を提供します。

美しいデザインと機能性 - エクステリアデザイン

“Avant” という語は、アウディ ブランドが提供する魅力的なステーションワゴンの象徴となっています。新型 Audi A6 Avant にも、その特徴が受け継がれています。シャープなライン、伸びやかなサーフェス、縦方向に絞ったリヤウィンドーを備えたエクステリアデザインは、アウディ ブランドの新しいデザイン言語を反映しており、長いボンネットと緩やかに流れるルーフラインにより、エレガントかつスポーティで洗練されたデザインを表現しています。

ワイドで低く構えたシングルフレームグリルは、フロントエンドに圧倒的な存在感をもたらし、伸びやかなシルエットと台形のウィンドーが、サイドビューの特徴となっています。ホイールハウジング上のプリスターは、quattro ドライブの存在を視覚的に強調しています。力強いアーチを描くルーフラインは、低めの D ピラーへと着地します。ここでは、ルーフェッジスポイラーが車両後方へと延びて、スポーティなスタイルを強調しています。真後ろから見ると、左右のリヤライト間の装飾パネルが目を引きまします。ボディカラーは 12 色が用意されるほか、スポーツ及びデザインエクステリア装備ラインに加えて、S ラインエクステリアパッケージもオプションで選択することができます。

室内の魅力：広々としたインテリアとラゲッジコンパートメント

全長は 4.94m、全幅は 1.89m、全高は 1.47m です。室内スペースは、先代モデルよりも広がっています。フロント及びリヤの室内幅だけでなく、リヤシートのニースペースも、トップクラスの広さを確保しています。

そのスポーティなボディラインにもかかわらず、先代モデルと同様、広大なラゲッジコンパートメントを備えています。ラゲッジコンパートメントの積載幅は 1,050mm、容量はリヤシートを起こした標準時で 565 ℓ です。リヤシートの背もたれを倒すと、その容量は 1,680 ℓ に拡大します。

高度な安全性：軽量化テクノロジーとドライバーアシスタンスシステム

新型 Audi A6 Avant は、ライティングテクノロジー、アシスタンスシステム、パッシブセーフティを含む、広範囲のセーフティシステムを装備しています。LED ヘッドライトが標準装備されますが、ヘッドライト

には 3 つのバージョンが用意されています。最上位のシステムは、高解像度ハイビームを搭載した HD マトリクス LED ヘッドライトです。ダイナミックターンシグナル及びライトを脈動させるカミングホーム & リービングホーム機能は、A6 ファミリーを際立たせる特長です。オプションのコンツァーアンビエント ライトパッケージは、インテリアデザインを立体的に照らす効果があります。

新型 Audi A6 Avant には、通勤及び長距離ドライブを念頭において開発した広範囲なドライバーアシスタンスがあり、それらは“ンスがあり及び“びスがありパッケージとして提供されます。標準装備されるドライバーアシスタンスシステムには、エマージェンシーブレーキアシストのオーディ プレセンス フロントに加え、工事現場などの幅員の狭められた区間での走行をサポートする“ナローロードアシスト” (narrowed road assist) 付きアダプティブクルーズアシストも含まれます。アダプティブクルーズアシストはストップ&ゴーをカバーし、静止状態から最高 250km/h の範囲で使用可能です。前後車間及びレーンキープを行い、ドライバーを支援します。

さらに効率的なアシスタンス機能を実現するため、システムは速度制限、カーブ、ラウンドアバウトに加え、ナビゲーションを使用中にはルート上の左右折も考慮して、クルーズコントロールを動作させます。このエフィシエンシーアシスタントは、インストルメントクラスターに予測情報を表示するほか、アクセルペダルを介して触覚 (=haptic) フィードバックを提供します。これらのアシスタンス機能は MHEV の制御と協調し、燃費の向上に貢献します。

エマージェンシーアシストは、必要な状況でドライバーがブレーキをかけなかった場合に、視覚的、音響的または触覚的な警告を発することによって安全性を高めます。警告に対してドライバーが反応しない場合にはシステムが運転を引き継ぎ、ハザードランプを点滅させて、走行車線内に停車させます。

効率的でパワフル：MHEV 技術を搭載

MHEV システムを標準で搭載したことにより、快適性と効率性はさらに向上し、実走行における燃料消費量を削減することが可能になっています。MHEV システムの心臓部であるベルト駆動式のオルタネーター スターターは、48V システム搭載の場合には制動時に最大 12kW のエネルギーを回生することができ、リチウムイオンバッテリーに電力を送り込みます。55~160km/h の速度において、エンジンを停止した状態でコースティング (惰性走行) することが可能で、22km/h 以下の速度でスタート/ストップ機能を作動させることができます。

かつてないほど快適で、かつ俊敏：サスペンション

サスペンションは幅広さを増しており、先代モデルよりもダイナミックでありつつ、その一方で快適性も進化しています。標準装備されるプログレッシブステアリングは、高い快適性をもたらします。標準の状態でもスポーティに設定されているステアリングは、操舵角が増すにつれてさらにダイレクトなレシオへと変化します。オプション装備のダイナミックオールホイールステアリングを選択すると、操縦性はさらに向上します。車速が 60km/h 以下の場合、リヤホイールはフロントタイヤとは逆向きに、最大 5 度まで操舵されます。それによって、回転直径が最大 1m 小さくなり、11.1m となります。日常走行における駐車時や狭い道路では、サイズを気にすることなく走行できるでしょう。

標準のスチールスプリングサスペンションの他に、スポーツサスペンション、電子制御式ショックアブソーバーを備えたサスペンション、アダプティブエアサスペンション (電子制御式ショックアブソーバー付) の合計 4 種類を選択することができます。エレクトロニックシャシープラットフォーム (ECP) は、ショックアブソーバーとエアスプリングに加えて、ダイナミックオールホイールステアリング及び改良されたスポーツディファレンシャルも制御します。スポーツディファレンシャルは、高速コーナリング時に後輪の左右間で駆動トルクをアクティブに配分します。

洗練された美しさ - インテリア及び装備

インテリアは、操作コンセプトと調和したスタイリッシュでシンプルなアーキテクチャを採用しています。

ブラックを基調とした光沢のあるインストルメントパネルには、MMI タッチレスポンスのトップディスプレイが組み込まれています。このディスプレイは、センターコンソール部のディスプレイと同様に、少しドライバーの方を向いてマウントされています。基本バージョンに加えて、スポーツ、デザイン、デザインセレクション、S ラインスポーツパッケージの 4 つの装備ラインが用意されており、お客様の希望に応じて、まったく異なる個性を表現することができます。各ラインには、独自のカラーコンセプトが採用されています。S ライン エクステリアパッケージは、すべての装備ラインで選択することが可能です。

直観的かつ論理的：MMI タッチレスポンス操作システム

ドライバーは、ほぼすべての機能を、MMI タッチレスポンスの 2 つの大型ディスプレイで操作することができます。インフォテインメントおよびナビゲーション機能は、上部の 10.1 インチ画面（MMI ナビゲーションプラス装着車の場合）で操作します。下部の 8.6 インチディスプレイは、空調コントロール、コンフォート機能の操作、テキスト入力に使用します。ドライバーは、セクターレバーに手首を載せてリラックスした状態で、これらの機能を操作することができます。MMI タッチレスポンステクノロジーは、触覚および音響フィードバックにより、迅速かつ確実に操作することが可能です。MMI のメニュー構造は、スマートフォンのように論理的でフラットな階層を特徴としています。

MMI ナビゲーションプラスには、12.3 インチのスクリーンを備えたフルデジタルのオーディオバーチャルコックピットも含まれています。これらの機能は、ステアリングホイールのマルチファンクションボタンで操作します。オプションのヘッドアップディスプレイは、情報をフロントウインドウ上に映し出します。日常会話に対応したボイスコントロールシステムにより、インテリジェントな会話のパートナーとなります。このシステムは、車両に記憶されたデータとクラウドに蓄積された“知見”の 2 つの方法を駆使して、ドライバーのコマンドと質問に回答します。標準装備されるパーソナライゼーションシステムは、7 名までのプロフィールを記憶することが可能で、最大で 400 の設定を保存することができます。

細部にまで行き届いた気配り：ナビゲーションおよび Audi connect

インフォテインメントラインナップの最上位システムは、オプションの MMI ナビゲーションプラスです。このシステムのデータ転送モジュールは、LTE-Advanced (LTE アドバンスド) に対応し、WiFi ホットスポット機能を内蔵しています。ナビゲーションシステムは、過去の走行記録からドライバーの好みを認識して、インテリジェントな提案を行います。Audi connect は、道路標識やハザード情報といった car-to-X サービスを含む、広範囲なオンラインサービスを提供します。オプションの Audi connect キーを使用すると、Android スマートフォンによって新型 Audi A6 Avant を施錠および開錠できます。myAudi アプリは、ユーザーのスマートフォンと車両を接続することができます。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。